

H.Y.さん

(2009年3月アンケート記入)

### 留学先について

学校名: Universidad Nacional Autónoma de México (UNAM: メキシコ国立自治大学) 及び 付属語学学校 Centro de Enseñanza para Extranjeros (CEPE: 外国人教育センター)

専攻: 教育学

課程: 学士 / 交換留学

留学期間: 2008年8月～2009年6月

### 留学の動機

なぜメキシコに留学しようと思いましたか？なぜ他のスペイン語圏ではなくメキシコを選びましたか？

第二外国語としてスペイン語を選択しており、スペイン語圏に興味があったためです。それだけでなく、アメリカと極度に近接関係にあるメキシコで学ぶことで、世界を多角的に見る視点を得ることができるのではないかと思います。メキシコ留学を決定しました。また留学を考えている際に、日本とメキシコの政府の間で交換留学の奨学金制度(日墨研修生・学生等交流計画)が設けられていることを知ったのも、留学を後押しする大きな理由でした。

### 留学前の準備期間

留学を思い立ってから実際に現地に出発するまでどのくらいの準備期間が必要でしたか？

日墨研修生・学生等交流計画の奨学生は、留学時期の一年前に募集があるため、留学決定後はある程度の準備期間がありました。具体的には半年ほどです。実際に準備に費やした時間は2ヶ月ほどですが、予防接種のことを考えるともう少し必要かもしれません。

### スペイン語の勉強方法

日本でスペイン語をどのようにして勉強しましたか？どの勉強方法が一番効果的だったと思いますか？

スペイン語は大学の第二外国語として勉強したのみです。主に文法中心の授業だったため、読む学習が中心でした。今振り返ってみると、文法にも会話にも偏りすぎず、読み・書き・会話の3点のバランスを適度に取りながら勉強するのが語学力を伸ばす上で効果的だと思います。文法のみでしたら、たくさん参考書が出ていますのでそれらを利用しながら勉強することも可能だと思います。

### 情報収集方法

どのようにして情報を得ましたか？

同じプログラム(日墨研修生・学生等交流計画)を利用されていた大学の先輩からお話をうかがったり、自分で辞書を片手に現地大学のホームページを読んだりして調べました。一番信頼できた情報は、やはり同じ場所に行かれていた方の意見でした。

### 現地の学校への問い合わせ

学校へはどんな手段で連絡を取りましたか？その際に困ったことはありましたか？それをどのように解決しましたか？

日墨研修生・学生等交流計画による留学だったため、現地の学校へ連絡する必要が無くその点は大変便利でした。

### 出願

出願時にどのような書類をどこに提出しましたか？書類を準備する上で苦労したことはありましたか？それをどのように解決しましたか？出願から正式な許可書を受けとるまでに、どのくらい時間がかかりましたか？

日墨研修生・学生等交流計画への出願は、健康診断書の提出に始まり、その後研究計画書や志望動機書、教授の推薦状(全て英語あるいはスペイン語)を日本学生支援機構(JASSO)に提出しました。研究計画書をスペイン語で準備しなければいけなかったこともあり、非常に時間を要しました。出願から正式な受け入れ通知を受け取るまでに、だいたい4～5ヶ月くらいかかったと思います。

## 出願・入学資格

現地で入学試験を受けましたか？どのような教科の試験を受けましたか？

日墨研修生・学生等交流計画を通じた留学だったため、入学試験はありませんでした。

## 滞在許可の取得(日本での取得と現地での状況)

どこで滞在許可を取得しましたか？

入国前に日本で取得しました。

申請時に提出を求められた書類にはどのようなものがありましたか？申請料はいくらでしたか？申請から取得までどのくらいの日数がかかりましたか？

FM3 という種類の滞在許可とパスポートの取得が必要でした。ただ、大使館側がおおむね手続きを行ってくれたため、こちらは写真や戸籍抄本等の書類を準備するだけでした。

## 保険・医療・予防接種

どのような保険に入っていましたか？保険料はいくら払いましたか？留学先が指定した保険に入りましたか？日本でどのような予防接種を受けましたか？

日本の海外留学生用の民間保険に入っていました。保険料はおおよそ 10 万円程だったと思います。しかし旅先では何があるかわからないことを考えると、決して高い保険料ではないと思います。日墨研修生・学生等交流計画を通して留学していますので、メキシコの公務員向けの保険へ自動的に加入しているのですが、万全の医療を受けるためには、やはり日本で民間の保険に加入することをお勧めします。予防接種は狂犬病、A・B 型肝炎、破傷風を受けました。しかし現地の病院でも予防接種が受けられますので、時間に余裕のない方はメキシコに来てから受けられるのも良いかもしれません。熱帯地方に行かれる場合は、マラリアの予防接種も受けておいたほうがより安心できるはずです。

## 学校生活

現地の授業と日本の学校(大学)の授業の進め方に違いはありましたか？教授・先生の教え方や授業内容に満足していましたか？

進め方に大きな違いはありません。一番違うところは、学生に議論させながら講義内容を深めていくところでしょうか。毎回、次回の内容に関連した課題が出され、それについて学生はしっかりと準備してくる印象を受けました。毎回の課題が日本の大学に比べて多いのが特徴でしたが、授業内容レベルにはそれほど満足できませんでした。

授業の準備はどのようにされましたか？予習・復習にどの程度時間をかけましたか？日本で学んだ語学力は充分でしたか？

日本で学んだ語学力はかなり不十分なものでした。現地では予習・復習にも相当時間がかかり、調べ物や読み物の課題が出たときには、現地の人々の 2~3 倍の時間がかかったと思います。母国語と違う言語で授業を受けるので、予習・復習のスピードは、どれだけスペイン語を聞き取れるようになったかによっても異なるはずです。

授業以外に勉強する際、どんな場所を利用しましたか？学校の施設(図書館、コンピュータールーム、カフェテリアなど)は充実していましたか？

授業以外で勉強した主な場所は自宅と図書館でした。私の場合は住んでいる家の近くに公立図書館があったため、そちらを多く利用しました。大学内は学部ごとに図書館が設置されており、勉強する環境は整えられていると思います。

試験はどのように行われましたか？試験対策はどのようにされましたか？

試験は、大学と並行して語学習得のために通っていた大学付属の外国人教育センター(語学学校)で中間試験と期末試験がありました。語学学校の試験内容には口述試験と筆記試験の二つがあり、その総合得点

で成績が判定されました。試験対策としては、日々復習をして単語を増やすことに努めました。口述試験はどれだけ習ったことを表現できるかが問われるので、日ごろから語学学校やメキシコ人の友人と会話することが直接試験対策になりました。

プレゼンテーションスキルやレポート(エッセイ)作成の際の文法チェックなどの語学サポートは大学で用意されていましたか？ 用意されていない場合は、どのように対応していましたか？

メキシコ国立自治大学にそのような語学サポートは用意されていませんでした。友達に頼んでチェックしてもらいました。

学校全体やクラスで、留学生の割合はどのくらいでしたか？ 留学生の中で、日本人の割合はどのくらいでしたか？

メキシコ国立自治大学では、留学生の割合は 1 割未満でした。そのなかでも日本人は少数派で、割合に換算すると極めて 0 に近い数字になるのではないのでしょうか。

クラス外の活動(クラブ、サークルなど)に参加しましたか？ どのような活動をしましたか？

参加しませんでした。

現地の学生とどのようにして交流を深めることができましたか？ 大変だったことはありましたか？

学部でできた友達と食事にいったり休日に遊んだりしました。やはり大きな壁を感じるころは言葉が通じないところです。それに加えメキシコはとにかく喋る文化です。自分の考えたことを口頭で表現することを重視します。それに比べ日本はあまり喋らない文化に属し、お互い察し合う傾向があると思います。これらの文化間の違いに慣れるまでに少し時間がかかりました。

日本人留学生とどのように接していましたか？ 大変だったことはありましたか？

同じ日墨研修生・学生等交流計画を通じて来た人たちがたくさんいたので、彼らとは日本にいたときと同じように接しました。日本人の間では日本の文化がそのまま残っており、日本人同士で固まる傾向があるため、適度な距離を保つのになかなか苦心しました。しかしながら、お互い困ったことがあったときは母国語で相談でき、親身になって相談に乗ってくださる方ばかりだったので、とても安心して留学生活を送ることができました。

他国の留学生とどのように接していましたか？ 大変だったことはありましたか？ 指導教官とのやりとりで大変だったことなどはありましたか？

国ごとに文化が違うので、どこがどのように違うのか自分のスタンスで接しながら、違いを楽しんでいました。特に大変だったことはありません。幸いにも大学の指導教官は優しい方ばかりで何も問題はありませんでした。しかし、語学学校では教官によって生徒の評価方法に大きな違いがあり、国籍を問わず生徒の間で話題になっていることもありました。

日本で得ていた情報と食い違っていたところはありましたか？

食い違うところはなかったのですが、公衆トイレがなく、トイレの確保に大変困りました。

### 宿泊施設

到着後初めに選んだ宿泊施設は何でしたか？ どのようにして宿泊施設を探しましたか？

ホームステイでした。日墨研修生・学生等交流計画のパンフレットに掲載されていた滞在先に電話をかけ、自分の目で確かめた上で引っ越しました。

トラブルはありましたか？ その際、どのように対処しましたか？

特にありませんでした。

### 現地の食事情

普段はどのように食事をされましたか？現地の食事・食材で苦労したことはありましたか？日本の食材を手に入れることはできましたか？

昼は外食し、それ以外は自炊していました。私の場合は現地の食事でも苦労したことはありません。日本の食材も割高ではありますが、手に入れることができました。

### 留学費用・お金の送金方法・管理方法など

学費(+その他学校に支払った諸経費)はいくらでしたか？またどのような支払方法が便利でしたか？

学費はメキシコ政府が払っていたため無料でした。仮に自己負担だとしたら、半年で語学学校は 430 米ドル (2009 年 3 月現在)、大学は国立のため 1,000 円かからないくらいだと思います。

学費以外の生活費(住居費、食費、光熱費、教養・娯楽費など)は、1 か月または留学期間全体の金額を教えてください。

住居費に光熱費込みで 3 万円弱、食費に 1 万 5,000 円強、教養娯楽費に 7,000 円ほどでしょうか。書籍の値段が高く、結構支出がかさみました。したがって、生活費は 1 ヶ月に合計 6 万円ほどになるでしょうか。留学期間全体では 1 ヶ月 6 万円 × 11 ヶ月ですから 66 万円ということになります。

お金をどのように管理していましたか？日本からの送金が必要な際、どのように送金してもらいましたか？

日本で国際キャッシュカードを作り、必要な場合はその口座に振り込んでもらいました。ただ私の場合は日墨研修生・学生等交流計画の奨学金で賄うことができましたので、国際キャッシュカードを使ったことはありませんでした。お金はいつもスーツケースの中に入れ、鍵をかけて管理しました。

### 医療

現地で病院にかかられたことはありますか？大学内の医務室や付属病院で医療サービスを受けることは可能でしたか？

幸いにも病気にかかったことがなく、病院に通うことはありませんでした。大学内に緊急の医療サービスがあり、学生は無料で医療を受けることは可能でした。

### 現地での各種相談先 / 支援組織

相談先の案内は事前に知らされていたか？学校内・学校外で問題があったとき、誰に相談しましたか？住居などについて支援を受けられるような学生互助会(自治会)などがありましたか？その支援を受けましたか？

出発前の説明会のときに連絡を受けていました。相談先が在メキシコ日本国大使館でしたので、その点は安心でした。私の場合は支援を必要とすることがありませんでした。

### 治安

現地の危険地帯情報をどのようにして収集しましたか？現地でどのような防犯対策をしていましたか？盗難などを含む犯罪に巻き込まれたことはありましたか？その際どのように対処しましたか？

親しくなった友人からの情報や勘による判断で危険地帯は避けるようにしました。外を出歩く際にはカードと大金を持ち歩かないようにして、強盗にあった場合に備えました。私は不運にも安全といわれる地域で強盗に遭い、持っていた少額の紙幣と携帯電話を渡すと強盗は何もせず去っていきました。

### 通信関連

パソコン、携帯電話、インターネットなどの現地での利用はいかがでしたか？

携帯電話はプリペイド式が一般的で、問題なく使えます。インターネットも街中のカフェで利用でき、一般家庭でも無線 LAN の普及が進んでいます。ただし電波が弱いことが多く大変でした。

### 帰国後の進路

現在の所属をお知らせ下さい。

学生として残りの課程を修了します。

あなたの留学経験は現在の仕事・学業にどのようにいかされていますか？

異なる国の人の考え方や振舞い方は私のなかに息づいています。物を多角的に見られるようになったことだけでなく、生活の場は違えど自分の中に異国があることで、日本だけにとらわれない判断ができるのではないかと思います。

### 後輩へのアドバイス

これまでの留学準備と留学生生活を振り返って、「日本にいる間にしておけば良かった」と思うことはありますか？

一人ひとり最善と思えることをするのが一番だと思います。

留学生活を送る際の注意点と、これから留学を考えている後輩への助言をお願いいたします。

安全と健康には気をつけてください。必ず得るものがありますので、留学を考えていらっしゃるようでしたら、迷わず国外に出てみるのがいいと思います。